

## 参加者からのご質問

### 質問 1

がんを宣告されても、75 歳以上の者は、手術しない方がよいと聞きましたがいかが？

#### [回答]

手術をするかしないかは、年齢だけをもって決められるものではありません。病状の進み具合や症状、治療に耐える体力にも関わってきます。しかし、何よりも優先されるべきは、治療を受ける本人の気持ちです。医師としっかり話し合っ、納得できる治療方針を選びましょう。

### 質問 2

かかりつけ医はあっても、訪問診療を行っておられない場合、在宅看取りを希望する時に、どう医師を探せばよいでしょうか？

#### [回答]

まずは、かかりつけ医に相談してみてください。あなたの希望を具体的に伝えて、どうすればよいか一緒に考えてもらいましょう。

### 質問 3

病気になり、誰でもが、最期、心配なくケアを受けられるのか、年金生活で可能なのでしょうか？

#### [回答]

心配なことがあれば、ぜひ、がん相談にお越しください。治療のことはもちろん、医療費のことも相談していただけます。必要な場合は、適切な支援機関と連携し、療養生活を支えるお手伝いをします。

## 今後とりあげてほしいテーマ

- ◆ がんの予防や早期発見する方法を教えてください。
- ◆ がん予防に関する内容についても、お話を聞きたかった。
- ◆ がんや病気になりにくい日常生活や食事等について、お話を聞きたい。
- ◆ 高齢者の一人暮らしの、がん治療中の生活について
- ◆ 緩和ケアについて
- ◆ 告知について
- ◆ 治療と仕事の両立について
- ◆ 高齢者にとって、安心して迎えられる終末の例を色々伺いたい。
- ◆ 認知症について。症状、診断（介護の方法）家族としての接し方。治療（最近アメリカでレカネマブが承認されたが詳しく知りたい）。
- ◆ 病院に受診してから、診断、治療へと進んでいく流れについて、どのように経過していくのか知りたい。

- ◆ 事例についてディスカッションする。
- ◆ がん患者さんの体験談、家族の体験談も聞いてみたい。
- ◆ 認知症についてお願いしたい。
- ◆ がんの予防（生活スタイル、栄養、運動など）
- ◆ がんや不治の病に対する心構え（みんなに必ずやってくる最期における）
- ◆ 在宅での緩和ケアの実際～ホスピスでなくても緩和ケアが可能～
- ◆ どうしたらがん検診を受ける人が増えるか。予防の大切さについて。
- ◆ 希少がんについてもフォーラムの中で取り上げてもらいたい。
- ◆ 病病連携について
- ◆ がんになると、トータルでどのくらいの費用が必要なのか。こういった支援制度があるのか。通院費用、入院、介護など。
- ◆ AYA世代のがん患者、各種の医療や介護サービスが受けられない狭間の世代の方の支援等についてとりあげていただきたいです。
- ◆ 若い人のがん患者の治療、生活状況も、次回、お聞きできればありがたいと思います。